

栄養大和

NO. 101

2022,7,15

公益社団法人

奈良県栄養士会

奈良県磯城郡田原本町大字三笠22-1

サンライズ三笠Ⅱ201

電話 (0744) 33-2166

FAX (0744) 33-2177

郵便番号 636-0342

ご挨拶

(公社)奈良県栄養士会会長 松田 仁



機関紙「栄養大和」の発刊に際して、一言ご挨拶を申し上げます。

総会の1週間前から天候が気になり、週間天気予報では、雨の予想でしたが、幸いにも雨が降らず安堵いたしました。

1年の節目となる第10回定時総会を無事終えることができましたことを、ご報告させていただきます。

本年5月26日に開催した令和4年度第10回公益社団法人奈良県栄養士会の定時総会を3密回避しての開催となり満席となる80名の出席をいただきありがとうございました。

また、本年度は役員の変更があり、信任投票により新理事23名全員の承認をいただきましたので、新体制で今年度、来年度の2年間、本会活動に尽力いたします。どうぞよろしく願いいたします。

コロナ禍も落ち着いた兆しが見えてきましたが、今年度も、昨年度同様に皆様の協力のもと生涯教育研修会を始め、各種研修会はズームを使用してハイブリット方式で開催を実施いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

また、ホームページにつきましては、求人情報や各種事業部が開催する研修会、外部依頼の講師紹介等最新の情報をアップしておりますので定期的に視聴の方をよろしく願いいたします。

昨年度は介護報酬、本年度医療報酬の改定により栄養ケア・ステーションが重要な役割を持つ事となり、本会においても、本年度医療機関との業務委託を締結し本会栄養ケア・ステーション登録管理栄養士の方に活動していただいております。社会から信用され、尊重される働きをするために登録管理栄養士の資質の担保と登録管理栄養士の増員が急務となっております。今後要求が高まると思われる「在宅栄養ケア」や「地域ケア会議」

への参画も視野に入れ役割を果たして行く必要があると考えておりますので管理栄養士、栄養士は資質を担保するためには、絶えず自己研鑽と、卒後教育の場である本会が開催する生涯教育を始めとする各種研修会に積極的に参加していただき、最新の知識を習得するとともに、仲間づくりをし、スキルアップを図り個人や地域の元気を支えるために、互いに力を合わせていてもらいたいと願っています。

また、在宅医療や在宅介護が推進されるなか、健康状態、栄養状態を適切に保つためには、良質な配食事業などによる食環境の整備が大きな支えとなることから実際に食事サービスについては、今後の利用意向は高くなり拡大していくことが見込まれています。しかし、配食サービス事業者では管理栄養士・栄養士が関わっていない事業者も少なくなく、管理栄養士・栄養士が不在の事業者が減塩食や糖尿病食などの治療食の提供や、栄養価計算を行っていない等の問題もあります。このような状況の中、本年度配食サービスにおける栄養管理等の事業を県からの委託しております。

最後になりましたが、コロナ禍の中での活動ではございますが、奈良県が目指している「健康長寿日本一」に、食と栄養の専門職として最新の知識を習得するとともに、個人や地域の元気を支えるために、会員相互の積極的な関りや力を合わせるにより県民の栄養改善、健康の保持増進、生活習慣病の予防・改善に貢献尽力し「健康長寿日本一」を目指したいと考えています。

今後とも、目的達成に向けて寄与できるように努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

叙勲の榮譽を受けて

溝 口 裕 子

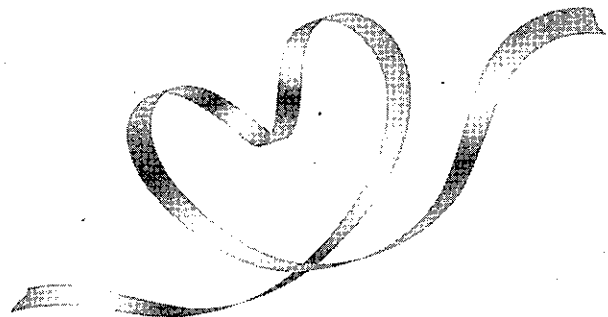
この度、令和4年春の叙勲において、思いもよらず栄えある旭日単光章を賜り身にあまる光栄です。戸惑いと気恥ずかしい思いで、私には勿体ないと思っております。

福原名誉会長様、松田会長様、ことに私の勤務が病院であったため、岩本副会長様、医療事業部の理事の皆様、並びに奈良県栄養士会の会員様には大変お世話になりました。

去る4月29日に春の叙勲の受章者についての新聞報道がありました。さらに、5月2日奈良県庁で荒井正吾知事様による勲記、勲章の伝達式があり、お祝いのお言葉をいただきました。今回は新型コロナウイルス感染予防のため、皇居で天皇陛下にお目にかかることはできませんでした。

昭和40年から奈良県立医科大学附属病院に勤務し、諸先輩の栄養士様に種々のご教示をいただきました。以降、昭和57年から3年間教育委員会に出向し学校給食の職務にも携わりました。昭和63年から県内で始めて県立病院の給食業務が委託に決まり、奈良県総合リハビリテーションセンター（旧奈良県心身障害者リハビリテーションセンター）においては、県関係職員だけでなく民間企業の人と共に仕事をする中で私を育てていただきました。

昭和29年奈良県栄養士会が発足して、これまで栄えある叙勲を受章された会長様方の名を汚すことなき様に心してまいります。この感動と感謝を胸に御恩を忘れず、少しでも後輩に伝えて、これからの人生を歩んで参りたいと思います。



奈良県栄養士会 8月～12月の事業・研修会の予定

◆ 研究発表会演題募集

日時：令和4年8月23日（火）9：30～12：00

場所：畿央大学（北葛城郡広陵町馬見中4-4-2）

※各事業部1演題以上の発表をお願いします。申込・お問い合わせは
栄養士会事務局まで

研修会

◆ 福祉事業部児童福祉スキルアップ研修会

場所：ZOOM及び天理市樺本公民館

令和4年8月22日（土） 10：00～16：30

講演：「子どもの食べ物による誤嚥窒息事故防止について」

講師：保育の安全研究・教育センター心理学博士 掛札 逸見氏

◆ 福祉事業部高齢福祉Step00研修会

場所：ZOOM及び帝塚山大学

日時：令和4年9月10日（土）13：00～16：30

内容：「介護保険制度の仕組み、栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画書の書き方」

◆ 福祉事業部高齢福祉Step0研修会

場所：ZOOM

日時：令和4年10月29日（土）13：00～16：30

内容：「介護保険施設の栄養ケア・マネジメントのポイント、事例を用いたスクリーニング演習」

◆ 食生活と植物油の研修会

場所：リガール春日野

日時：令和4年10月6日（木）13：00～15：40

内容：「植物油の基礎知識」、「(仮)新しい油脂栄養論」

◆ JDA-DAT3県合同スタッフ養成・スタッフスキルアップ研修会

場所：滋賀・奈良・和歌山3会場及びZOOM

日時：令和4年10月15、16日 2日間

内容：養成研修及び演習

生涯教育研修会 (各回とも会場での対面及びZOOMによるリモートで実施)

◆第2回

令和4年7月30日(土) 13:00~16:10

場所: 奈良県社会福祉総合センター

◇講演: 発達障害は食事で良くなる

講師: みぞくちクリニック 院長 溝口 徹氏

◇講演: みどりの食料システム戦略とSDGs

講師: 近畿農政局 地方参事官 宮本 隆明氏

◆第3回

令和4年9月17日(土) 13:00~16:10 場所: 奈良県営福祉パーク

◇講演: 乳児期から幼児期の口の発達と噛むことや食べることのポイント

講師: 管理栄養士 健康咀嚼指導士 田中 美智子氏

◆第4回

令和4年12月3日(土) 13:00~16:10 場所: 奈良県営福祉パーク

◇講演: マーケティング思考で考える減塩のこれから

講師: 一般社団法人 日本塩分管理支援協会 代表理事 根本 雅祥氏

◇講演: 孤食と共食のあいだから新しい社会を考える~縁食の可能性について~

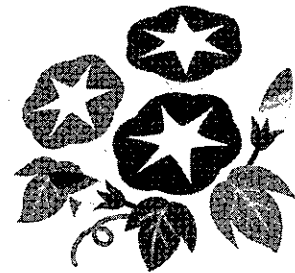
講師: 京都大学 人文科学研究所 准教授 藤原 辰史氏

理事会

8月27日(土) 第3回理事会 場所: 田原本青垣生涯学習センター

10月8日(土) 第4回理事会 場所: 奈良県営福祉パーク

12月10日(土) 第5回理事会 場所: 奈良県営福祉パーク





**(公社) 奈良県栄養士会
令和4年度 第10回定時総会**

日時 令和4年5月26日(木)
 午前10時～午後3時30分
 於：リガール春日野
 会員数 539名
 出席者 80
 書面表決 362 (出席者を含む)
 委任状 4
 合計 366

定款第18条の規定により成立いたしました。

議事

(1) 報告事項

- 報告第1号 令和3年度事業報告について
- 報告第2号 令和4年度事業計画について
- 報告第3号 令和4年度収支予算について

(2) 議案事項

- 第1号議案 令和3年度収支計算書及び財産目録承認の件
 - 第2号議案 役員(理事23名・監事2名)
- 以上の議案について可決・承認されました。

今年度開催いたしました第10回定時総会は、新型コロナウイルスの蔓延防止が下火になり対面での

の参加といたしました。しかしながら、新型コロナウイルスが消滅したわけでもなく、参加者には問診表、マスク着用、検温の実施、アルコールによる消毒、配席の空間スペース、換気をするなど、3密回避、昼食時の黙食等万全を期したうえでの開催となりました。久しぶりの対面だけの開催であり、参加者も80名と満席状態となり、各事業部の垣根を越え日ごろの活動等に対話が弾んでいたと感じました。

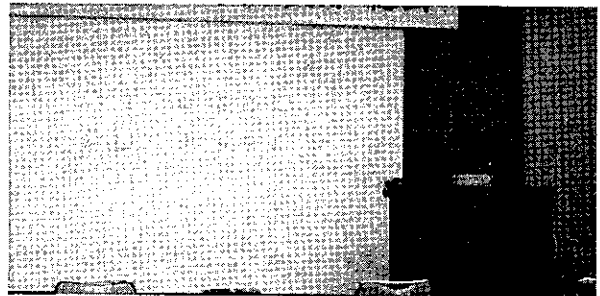
最後にご協力いただきました関係者の皆さまには感謝申し上げますとともに無事終了できましたこと大変喜ばしく感じています。

【記念講演】

演題：「結解(けっけ)料理と修二会(お水取り)の食と文化」

講師：東大寺長老 筒井 寛昭 師

筒井先生からは、まず「東大寺に大仏様が居られるわけ」として東大寺が建立された目的や、大仏建立のころ、お釈迦様は何を伝えたかったのかなどをお話いただき、結解(けっけ)料理については、古くから東大寺に伝わる献立表などを示しながらどんな材料が料理に使われていたなど解説していただきました。



よりソリプロジェクト 地域ケア会議助言者養成研修会

よりソリプロジェクト委員 松田邦子

日時：令和4年1月16日（日）13：30～16：40

場所：奈良県社会福祉総合センター 研修室C

受講者：対面12名 オンライン17名

【初任者研修】

講義「令和3年度介報酬改定について」

講師 福祉事業部 木島 隆栄 氏

内容：我が国が抱える人口および財政問題の解決のため、国が進めている「地域医療構想」「地域包括ケアシステム」「地域共生社会」についての説明の後、これら施策と今年度改正の介護報酬との関連および改正の要点について講義いただきました。改定の要点は次の通りです。

- ・科学的介護の推進のデータベース化
- ・栄養マネジメントの包括化
- ・居宅支援の強化

そして、これらに対応するためには、地域課題を解決できる力、包括的支援にかかわる力、職域の繋がり・連携力、人材育成と活動提案力が必要とお話いただきました。

講義「自立支援とケア会議」

「管理栄養士・栄養士の役割」

講師 福祉事業部 杉本 共美 氏

内容：地域ケア会議の目的、検討内容、運営方法等および実際の会議での配布資料と栄養士としての確認ポイント、助言のポイントをお話いただいた後、実際の事例から具体的な助言を挙げわかりやすく説明いただきました。また、ご自身の会議参加の経験を通して感じている事や参加するにあたり栄養士として必要な事、心構えについてもお話いただきました。

お知らせ

この度、よりソリプロジェクト委員会で「手間をかけずに簡単にできる調理のアイデア」を作成しました。県ホームページに掲載しています。

お役立ち情報→資料集

【スキルアップ研修】

演習「困難事例の検討から栄養士の支援を考える」

事例提供 地域活動事業部 隅 淳子 氏
受講者に事前に事例の資料を配布し、各自助言内容を文書にして研修会に参加。最近では栄養面よりも精神面や環境、疾病等に問題のある事例が増えてきているため、それに対応できるスキルをつけるための演習を行った。

<事例1>

78歳男性 要支援1 子供なし

妻80歳 緑内障で右目ほとんど見えず

現病歴：脳梗塞（経過観察中）右半身に軽麻痺
肝硬変（経過観察中）

生活状況：妻の運転でデイサービス、通院

感情失禁があり友人、親戚とも連絡なし

腰痛、右半身の麻痺で長時間の立位が無理

妻は協力的で夫婦中は良い

<ケアマネージャーからの質問>

- ・肝硬変があり食事で気をつけることは
- ・ベスト体重は
- ・たんぱく質の摂取量は

当該事例の助言についてグループワークを行い、検討結果を発表。医療事業部の小池明美氏よりコメントをいただき、共有を図った。

<事例2>

73歳男性 要支援2

妻 93歳 認知症 要介護5 右麻痺あり

緊急連絡先：長男

現病歴：多発性脳梗塞後遺症（H28 脳幹出血）
高血圧 脂質異常症 糖尿病

生活状況：脳幹出血後、認知症の妻が心配でリハビリ病院を強引に退院。体調すぐれず救急受診を繰り返す。近所や親戚づきあいなし。息子とは年に数回電話程度。

主訴：耳鳴りがひどく眠れず、目も見えにくい。体中に痺れが、医者には後遺症と言われている。妻の介護はヘルパーさんがいるが、休む時間が欲しい。妻が介護施設に入った時のことを考えると寂しくてたまらない。配食サービスは断った。今後の生活が不安。

この事例については、地域ケア会議に参加いただいている地域活動事業部 阪倉美代子氏および福祉事業部 島田友美氏より支援内容について、コメントを頂いた。

奈良県栄養士会 災害支援スタッフ養成研修会

JDA-DATリーダー 木 島 隆 栄

日時：2022年1月29日（土）

場所：福祉パーク・オンライン（ZOOM）

午前「みんなで取り組む防災対策」

講師：奈良県庁総務部知事公室防災統括室
室長補佐 森田 英樹 氏

「災害の理解」DVD講義

講師：（公社）日本栄養士会 JDA-DAT運営委員
午後「避難所食事アセスメントの演習」

講師：（公社）奈良県栄養士会 JDA-DA/NARA
リーダー

午前の講義は、県庁の森田様からご講演を拝聴し、参加者の方からの声として「奈良県における災害の実情が知れてよかったです。」「海がないため津波は来ないが、地震や台風、水害の影響があることをしっかり頭に入れておきたいです。」「災害に関する行政の仕組みや支援内容を学びました。」と頂いた。午前の2コマ目の「災害の理解」を日本栄養士会のDVDを上映し、学んで頂いた。参加者の声として「普段何気なく見ている災害ニュースを理解するすべを得ることができました。」「これを知っているのと知らないのでは支援内容も変わる部分もあるのではないかと思います。」「災害時に適応される法律、また、災害現場に行くときの心構えなど、知らなかったことを学びました。」「災害関連法規により支援の主体や費用負担の違いを知りました。」「海洋型地震からの津波、直下型地震の建物崩壊等知っておかなければ適切な支援ができないと痛感しました。」と頂いた。知っているようで知らないこと、覚えていたようで忘れていたこともあり、基礎を分かり易く学べる内容であったと感じた。

午後の講義の「避難所食事アセスメントの演習」から日本栄養士会書式の「避難所食事状況調査票」

の記入方法を学び、その後、スキット形式事例から避難所食事状況調査票を個別で記入し、その後グループに分かれて話し合いグループ毎で1つの意見にまとめて発表をして頂いた。参加者の皆さん、積極的に話し合いを持たれていたことが印象的であった。参加者の声として「ほかの方々の意見を聞くことができ、とても勉強になった。」「実際にやってみると、焦ってしまいました。もしもの時に自分自身が落ち着いて行動するためには、日頃の積み重ねが大切だと感じました。」「事例演習を訓練する事は重要だと思いました。」「寄り添いながら的確な情報を得るために、様式の項目を把握しておく必要があると思いました。」「違う職域の方とお話しできたことがよかったです。」「職域によって視点が少しずつ違い、視野が広がりました。」このような声から分かる様に日頃からの備え、すなわち、平時からの積み重ねた訓練が必要であると感じたことと、リアルに会えないかなでの研修であったが参加者の皆さんが積極的に学んでいることが嬉しく思いました。

今回の研修会を通して6名の新規のスタッフ登録者がいました。登録された皆さまありがとうございました。

この研修は、災害支援にいくためだけの人材育成では無く、まずは身近な大切な人の命を守るための研修であり、それが根源である災害支援スタッフ研修会です。これを読まれた方でもあなたが守れる命があり、あなたしか救えない命があります。ぜひ、次回のスタッフ養成研修会にご参加頂けたら幸いです。最後にJDA-DATの役割とは、「食・栄養を通して命を繋ぐ」これが私たちにしか出来ない役目だと思います。

今回の研修会も多くの仲間、諸先輩によりコロナ禍での開催が出来ましたこと感謝を込めて結びの言葉にさせていただきます。

災害時栄養・食生活支援研修会

公衆衛生事業部 松田邦子

日時：令和4年3月12日（土）13：30～16：40

場所：奈良県福祉パー福祉住宅体験館

参加者数：40名（対面2名 Web38名）

講演1

「熊本地震および豪雨災害から学んだことは
～そのとき、保健所、市町村、栄養士会は
どう動いたか～」

講師：熊本県立こころの医療センター
管理栄養士 大倉 香澄 氏

平成28年熊本地震発生時、被害の大きかった上益城郡を管轄とする御船保健所に勤務されていた大倉先生より、地震発生後の保健所、市町村養士の状況や栄養・食生活支援活動状況、また栄養士会との連携についてお話いただきました。

災害対応上の課題として○県民一人一人の備えが不十分、○多くの市町村庁舎や重要な拠点病院が被災し使用不能、○避難行動要支援者の誘導や福祉避難所の受け入れが機能せず、○指定避難所以外への避難者（車中泊・軒先避難）の把握が困難、○避難所運営を行政に過度に依存が上げられ、また熊本県では災害時の栄養管理ガイドラインを作成していたが、地震を前提としていなかった、大規模災害を想定していなかった等により活用しにくかったことも上げられていました。

実際の活動状況について、JDA-DAT及び熊本県栄養士会の活動期間、派遣人数、活動内容については次の通りです。

時期：平成28年4月22日～6月30日

派遣者数：JDA-DAT延べ183人

熊本県栄養士会延べ224人

活動内容：

避難所の食事提供に係る活動

- ・食事調査 ・特殊栄養食品等の仕分けと配布
- ・保健所と益城町に特殊栄養食品等の物資拠点を設置

被災者の個別支援

- ・栄養相談対応、特殊栄養食品等の配布
- ・要支援者への支援

また、支援に入る際に心がけたいこととして次のことも提言いただきました。

○被災地の状況を考慮して派遣期間の設定、派遣者の調整、必要物品の準備を行う。

○被災地の職員の意見を尊重しつつ、建設的な助言を行う。

○被災者に何かをしてあげる、物をあげることだけが支援ではない。自立を促すことを大切にする。

講演2

「行政栄養士の取り組みおよび
栄養士会等関係団体との連携について」

講師：兵庫県健康福祉部健康局健康増進課
栄養指導班長 諸岡 歩 氏

諸岡先生からは阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震の経験から、栄養・食生活支援活動の実際および職域を越えて行う平時からの協力体制づくりについてお話いただきました。

知っておくべき知識として災害救助法についてお話いただき、次に被災地における食と栄養の問題を上げ、実際の熊本地震での支援対策を「人材確保と活動体制」「避難所における食事内容の改善」「被災者の個別ニーズの対応」「避難所における衛生管理の改善」ごとに、課題と改善策を具体的に詳しくお話いただきました。

また、JDA-DATの取り組みでは、これまでの災害支援概要および特殊栄養食品ステーションの取り組み、行政との災害支援協定の締結状況等を、兵庫県の防災体制として、兵庫県地域防災計画、兵庫県栄養士会との連携、兵庫県の大規模地震時医療活動訓練へのJDA-DAT兵庫の参加など幅広くお話いただきました。

最後に日本栄養士会がモデル事業として実施している栄養ケアマッチングシステム（DIMS）についても説明がありました。

今回の研修会では行政、栄養士会ともに平常時の準備がいかに重要で、今すぐにも対策が求められていることに、今後の課題を突き付けられた思いでした。また今回、県防災統括室および2市から防災担当者の参加があり、自治体で災害時の栄養・食生活支援の重要性を認識していただき、地域防災計画に盛り込まれることを期待します。

令和3年度
第5回理事会報告

日時 令和3年12月11日(土)
PM1:30~3:30
場所 奈良県営福祉パーク(福祉体験館)

1. 会長挨拶 松田 仁会長
2. 議長選出 松田 仁会長
3. 定数確認 出席理事 17名
4. 報告事項
 - (1) 代表理事活動報告
 - (2) 日栄主催各都道府県栄養士会長との臨時会議報告
 - (3) 健康づくり提唱のつどいについて
 - (4) 医療事業部研修会について
 - (5) 生涯教育研修会について
 - (6) 栄養大和NO.100について
5. 協議事項
 - (1) 地域ケア会議助言者養成研修会
 - (2) 災害支援スタッフ研修会
 - (3) 令和4年度事業計画案の作成について
 - (4) ホームページの活用について
6. その他連絡事項
 - (1) 各事業部、支部、委員会よりの報告事項

令和3年度
第6回理事会報告

日時 令和4年2月19日(土)
PM1:30~3:00
場所 奈良県営福祉パーク(福祉体験館)

1. 会長挨拶 松田 仁会長
2. 議長選出 松田 仁会長
3. 定数確認 出席理事 19名
4. 報告事項
 - (1) 役員選任管理委員会の開催の報告
 - (2) JDA-DATスタッフ養成・スキルアップ研修会報告
 - (3) 地域ケア会議指導者養成研修会報告
 - (4) よりソリプロジェクト委員会活動報告
 - (5) 第5回生涯教育研修会報告
5. 協議事項
 - (1) 2022事業計画(案)について
 - (2) 2022年度収支予算(案)について
 - (3) 資金調達及び設備投資の見込みについて
 - (4) 2022年度第10回定時総会について
 - (5) 議決権行使について
 - (6) 2022年度生涯教育について
 - (7) 新入会・退会について
6. その他連絡事項
 - (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

令和4年度
第1回理事会報告

新入会員紹介 (6月17日現在)

日時 令和4年4月16日(土)

PM1:30~4:30

場所 奈良県営福祉パーク(福祉体験館)

- 1. 会長挨拶 松田 仁会長
- 2. 議長選出 松田 仁会長
- 3. 定数確認 出席理事 17名

4. 報告事項

- (1) 代表理事活動報告
- (2) 令和3年度第2回日本栄養士会諮問会議報告
- (3) 災害時栄養・食生活支援研修会報告
- (4) 役員改選にかかる立候補者について

5. 協議事項

- (1) 定時総会の役割分担について
- (2) 令和3年度決算(案)について
- (3) 令和3年度事業報告(案)について
- (4) 令和4年度生涯教育研修会について
- (5) 令和4年度事業の実施日程について
- (6) 機関紙「栄養大和」第101号の発刊について
- (7) 新入会・退会について
- (8) 令和4年度第10回定時総会議案書原稿の確認について

6. その他連絡事項

- (1) 各事業部・委員会及び支部等からの報告

名 前	事 業 部
鍵谷 美 萌	学校健康教育
西本 柊 二	学校健康教育
二宮 美代子	学校健康教育
本多 勇 二	学校健康教育
松生 輝 子	学校健康教育
森田 恵未子	学校健康教育
芳野 直 子	学校健康教育
紀平 佐保子	研究教育
鏑木 香 梨	地域活動
酒井 亜紀子	地域活動
杉井 千 晶	地域活動
須田 佳代子	地域活動
森岡 八栄子	地域活動
山川 裕 子	地域活動
大庭 沙 織	医 療
岸本 有 加	医 療
辰巳 慶 子	医 療
西川 照 子	医 療
西島 功 貴	医 療
濱田 萌 伽	医 療
餅 康 樹	医 療
柳田 理 絵	医 療
山口 賢 作	医 療
大川 沙 織	福 祉
尾角 那 美	福 祉
沖 実 優	福 祉
奥内 百 花	福 祉
角谷 豊 子	福 祉
坂下 愛 実	福 祉
佐々木 真 都	福 祉
清水 麻 衣	福 祉
住原 優 美	福 祉
瀧元 雅 子	福 祉
中島 真 実	福 祉
中町 有 里	福 祉
西尾 綾 花	福 祉
二瓶 紀 子	福 祉
長谷川 里 穂	福 祉
東本 ゆい	福 祉
平野 美 鈴	福 祉
平野 優 花	福 祉
古楨 川 礼 菜	福 祉
榎谷 美 香	福 祉
牧野 可奈子	福 祉
枘本 紗 弥	福 祉
松吉 曜 呼	福 祉
三上 あゆみ	福 祉
山本 優 子	福 祉
横瀬 歩 美	福 祉
内村 美 樹	児童福祉
小川 昌 美	児童福祉
坂本 優 子	児童福祉

新入会員は、12月28日～6月17日の加入者です。(以上52名)

機関誌「栄養大和」100号の 歴史を振り返る

2021年後期号で100号を迎えました。「栄養大和」の前身は昭和37年10月に新聞「栄養大和」を年1回発行された。昭和56年奈良県栄養士会だよりと名称変更が行われ昭和63年12月に社団法人になったのを機に元年5月に会報誌の名称を「栄養大和」No.1とし発刊して前号で100号を向かえました。

なお、この「栄養大和」の表題は当時奈良県知事の上田繁潔氏が書き留めていただいたものでもあります。

最後に、「栄養大和」100号にあたり、本務のかたわら編集に努力された方々、ならびに取材に御協力いただいた方々や賛助会員の皆さま方関係者各位に厚く感謝の意を表します。

重要 お知らせ

栄養ケアステーション事業として実施しています栄養指導や栄養教室の講師の依頼、各種講演会の講師派遣依頼など各方面からの管理栄養士・栄養士への依頼につきましては、従来から地域活動事業部の会員を中心にご協力をいただいておりますが、今後幅広く会員の皆様に参加いただけるよう比較的募集期間が長いものについては、本会ホームページにも10日間程度掲載することにしたのでぜひチェックしてください。

なお、令和4年度の会員専用ページのパスワードは、「n-eiyou」（半角）です。

ホームページの「お役立ち情報」→「求人情報」からご覧ください。

編集後記

今年も梅雨の季節になりました。暑い日が続くと思えば、肌寒かったりする日が続きます。体調には十分気をつけていただきますようお願いいたします。コロナも3年目、終息は見えませんが基本を守って日々生活していくことが大切なのではと感じています。皆様ご自愛を。（拝）

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。 今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- ◎医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- ◎メンタルヘルス研修 労働者におけるストレスと睡眠の関係
- ◎学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- ◎高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

◆セミナーに申し込みは、
二次元バーコードより
お問い合わせください。
担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



Ofsuka 大塚製薬

栄養の不足や偏りの調整に

BALANCED FOOD
CalorieMate

＼気分に合わせて選べる！／
カロリーメイトリキッド **3**つのフレーバー



まろやかな
味わい!

ミルク風味と
コーヒーの味わい
カフェオレ味



後味スッキリ
爽やかな
酸味!

華やかな
フルーツの香り
フルーツ
ミックス味



サッパリと
ほどよい
酸味!

爽やかな
ヨーグルトテイスト
ヨーグルト味

さあ、あなたも飲んで始める
栄養バランス習慣!

5大栄養素を
バランスよく!

1缶 200kcal
タンパク質 10g

カラダに優しい
リキッドタイプ

お問い合わせは大塚製薬(株)奈良出張所へ
〒630-8115奈良県 奈良市大宮町1-1-15ニッセイ奈良駅前ビル2F
TEL:0120-303-088 FAX:0742-27-2716

uniserv

株式会社 魚国総本社

おいしいをもっと。すこやかをずっと。

Design food for your life

事業内容

■ビジネスダイニング

社員食堂の運営
社員寮、研修所等での食事提供

■メディカル&ウェルフェア

病院食、老人福祉食の提供
介護施設等での食事提供

■スクールダイニング

学生食堂の運営
学校給食の運営

■レストラン&カフェ

料亭大乃や、IL PIATTO、
Caffe Lucaの展開

お米丸とゆかいな仲間たち



〒555-0011

大阪市西淀川区竹島4-1-28

TEL.06(6478)5700

<http://www.uokuni-s.co.jp/>

電気、通信で人をつなぎ、社会に貢献を。

光ケーブル架設・接続工事・都市型CATV工事・電気通信工事・電気工事のスペシャリスト



近畿一円はもちろん、九州・中部・関東などあらゆる地域で施工しております。
なにかございましたら、お気軽にお問合せください。

ケイアスト株式会社

本社

〒630-8144

奈良県奈良市東九条町430-1

TEL : 0742-63-2060

FAX : 0742-63-2065